



教育推進室だより

第10号

平成29年3月1日
武蔵野市教育委員会
指導課教育推進室
電話60-1241

次期学習指導要領が示す「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて

指導課長 指田 和浩

未曾有の大災害となった東日本大震災が起きて、まもなく丸6年が経とうとしています。当時を振り返ると、被災地での中学生の活躍が思い出されます。発災後は、多くの中学生がボランティアとして、市民への救援物資の配布や高齢者などの手助けを行っていました。中には、家族の安否が分からないにもかかわらず、率先して救援物資の運搬を担った中学生もいたということです。「人から感謝されて嬉しかった。」「人の喜びを感じることができた。」という声が多くの中学生から聞かれ、緊急避難所における中学生の献身的な働きが注目を集めました。当時、私は、被災地における中学生の働きを見ていて、これからの時代を担う中学生には、地域社会の一員として、他人のために貢献できる力を身に付けることが大切であるという考えをもっていました。

東日本大震災が起きて1年後の平成24年4月、私は八王子市の中学校へ校長として赴任しました。赴任校での防災教育は熱心に行われていましたが、避難訓練等は生徒と教職員だけで実施されているという実態がありました。そこで、私は、校長として、目指す生徒像「地域社会の一員として、他人のために貢献できる生徒」を実現するためには、学校と地域が連携した防災教育を実施することが有効ではないかと考え、基本的に以下のような方針をもって取り組むことにしました。

- ・新たな防災計画を作成するために、学校、保護者、地域の方（自治会や青少年問題協議会の会長、消防署、消防団、学校運営協議会の委員等）、市役所の職員（教育委員会、防災課等）など、総勢10名程度で構成する「防災について考える会」を発足させる。
- ・防災計画には、全校生徒が参加する総合防災訓練を位置付け、その訓練には保護者や地域の方々にも参加していただく。
- ・訓練終了後には、学校、保護者、地域の方々との間で成果や課題について共有し、次年度につなげていく。

「防災について考える会」での協議の結果、総合防災訓練では、1年生には「自分が住んでいる地域に実際に出向き、地域の方々と一緒に地域での防災状況について知る訓練」を、2年生には「放水や救出救助訓練など基本的な防災技能を身に付ける訓練」を、3年生には「心肺蘇生法やAED訓練など人の命を救出するための訓練」をそれぞれ実施することになりました。訓練終了後、参加した多くの方々から、生徒たちが一生懸命になって訓練に参加している姿が印象的であったとか、中学生と防災について語ることができて大変よかったという声をいただきました。私はその翌年には異動となりましたが、赴任校では今でも防災教育を通して、学校と地域が連携しながら、生徒の心をはぐくむ教育を精力的に進めているということです。

さて、次期学習指導要領では、教育課程を通じて、子どもたちが変化の激しい社会を生きるために必要な力を育成したり、社会との連携・協働を重視しながら学校の特色づくりを図ったりするために、「社会に開かれた教育課程」の実現が大切であると示しています。しかし、その趣旨は赴任校での取組の趣旨と合致するように思います。なぜなら、上記で述べた取組は、学校だけでは決して実現できず、保護者や地域の方々の協力があったからこそ実現できたと思うからです。私は自らの経験から、これからの時代を生きる子どもたちの資質や能力を育てるためには、学校が抱える教育課題や目指す児童・生徒像を積極的に発信し、学校、保護者、地域の方々が一体となって教育活動を進めていくことが大切であるということを感じています。

今後とも、保護者や地域の方々に支えていただきながら、武蔵野市の教育を一層発展させていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

【 新教育委員のご紹介 】



小出正彦 新教育委員

初めまして、小出正彦と申します。
武蔵野市在住で、本業は落語家をいたしております。息子が二人おり、千川小学校と第四中学校に通っておりました。在学中には保護者として、PTA会長、施設開放委員長等を経験させていただき、多くの人にお世話になりました。その御恩を返すつもりで不慣れではございますが、他の委員の皆様にご指導いただきながら、子どもたちや先生方のお役にたてるよう努めたいと思います。よろしくお願いいたします。

平成 28 年度 第2回 開かれた学校づくり協議会代表者会



食育の取組について



本会は、年2回、各校の開かれた学校づくり協議会代表者が一堂に会して協議や意見交換を行うことを通して、教育委員会の諸事業についての共通理解を図るとともに、学校と地域が連携して教育を推進することを目的として、平成21年度から開催しています。



宮崎活志教育長

今年度、第2回目（木）の会議を1月26日に開催しました。

冒頭、教育長から、「平成17年に食育基本法が制定され、人間性をはぐくみ、生きる力を身に付けていくためには、何よりも『食』が重要であり、家庭だけでなく、国民運動として、食育に取り組んでいくことが、我々に課せられている課題であると前文で謳っている。」「本市をはじめ、食に関する様々な教育活動がこれまで展開されてきた。食生活は長い間に培われてきた文化である。これらを子どもたちにどのように継承していくかが大切である。」との話がありました。

次に、教育部長から、今後10年にわたって見込まれる本市の児童・生徒増加の増加への対応やICT教育についての取組など本市の教育を巡る課題についての説明を行いました。また教育委員会各課長からも取組内容の説明があり、その後、「食育の取組について」の協議を行いました。

まず、担当指導主事から、市内小・中学校における食育の取組についての説明が行われた後、ご自分の家庭での現状、地域と連携した食育の推進、子どもたちに身に付けてほしい食に関する知識やマナーなどについて、3つのグルー



プに分かれ、意見交換を行いました。

生活の多様化と個々の生活リズムの相違、日々便利になっていく食生活や継承しづらくなった食文化など、活発な協議が行われ、有意義で参考になるご意見等をいただきました。



協議の様子

平成 27・28 年度

武蔵野市 教育課題研究開発校及び教育研究奨励校の研究発表会

が開催されました。

各研究発表会とも多くの方々に御参観いただき、盛大に行われました。各学校の研究成果については、当日配布された研究リーフレット等にまとめられております。研究リーフレットや学習指導案の電子データを、今後、教育推進室ホームページや MSIS に順次掲載いたしますので、御活用ください。

学校名	日時	研究主題等
井之頭小学校	平成 28 年 12 月 2 日(金)	学び合いを楽しむ子どもの育成 ～算数科の練り上げの場面の充実をめざして～
第三小学校	平成 29 年 1 月 20 日(金)	自分の考えをもち、ともに学び合う児童の育成 ～問題解決の力を身に付ける指導の工夫～
大野田小学校	平成 29 年 1 月 27 日(金)	学びを確かにするための指導の工夫 ～ICT 機器を活用して～
関前南小学校	平成 29 年 2 月 13 日(月)	主体的に表現する児童の育成 ～自分の考えをもち、協働的に学習することを通して～



【関前南小学校 研究発表会の様子】



第8回中学生「東京駅伝」大会 ～チーム武蔵野健闘！～

2月5日(日)に東京都教育委員会が主催する第8回中学生「東京駅伝」大会に市内中学校の中学2年生代表メンバー(男女各21名 合計42名)が参加しました。大会当日までに5回の合同練習会を実施し、当日は味の素スタジアム・都立武蔵野の森公園の特設コース(女子30km、男子42.195km)を全力で走り、タスキをつなぎました。結果として参加50チーム中、男子は12位(記録2時間23分34秒)、女子は22位(記録1時間58分31秒)、総合で14位(記録4時間22分5秒)と健闘し、これまでの市最高記録を男女ともに更新しました。



【開会式の様子】



【スタート直後の様子】



【力走後の選手の皆さんの様子】

市最高記録
更新

シリーズ『初任の先生“今日もがんばる！”』<その10>

今年度 10 回目と 11 回目の初任者等研修の内容をご紹介します。

10 回目の研修は初任の先生による国語の授業研究を行いました。授業後の研究協議会では、授業のねらいを明確にした発問等の工夫について、活発な意見交換が行われました。分かりやすい言葉で発問する初任の先生の落ち着いた姿に、これまでの努力の積み重ねを感じました。

11 回目は、教育アドバイザーを講師に「ICT を効果的に活用した授業づくり」の研修でした。今年度、小・中学校の全普通教室などに設置された電子黒板ですが、教室のどこからでも同じように見えるわけではないので、事前に教室各所から画面の見え具合を確認しておく必要性など、普段見落としがちな点への配慮が必要であることや、短期間で機器や使用方法などが改善・改良されていくので、常に ICT 機器に関心を持ち、効果的な活用について研究していかなければならないなどの話がありました。また、市の ICT サポーターの積極的な活用や次期学習指導要領を踏まえたプログラミング教育の取組など学校全体で推進していくことが重要であるとの話もあり、初任者が一人悩むことのないよう助言も受けました。

初任者等研修も、残すところあと 1 回となりました。昨年 4 月から始まった初任者等研修ですが、ICT 教育など、新たに取り組まなければならない課題にも積極的に取り組む姿勢に、頼もしさを感じました。



講義の様子

出前授業いたします。

今回は

見学に来てください

～地域で活躍している団体紹介 <その9>～

武蔵野市環境部クリーンセンター



平成 29 年 4 月

新武蔵野クリーンセンターオープン！

クリーンセンターは、市内で発生する、燃やすごみ、燃やさないごみ、粗大ごみ、有害ごみの中間処理を行う施設です。機械の老朽化により建替えを行い、4 月より本格稼働します。ごみ減量に伴い焼却炉が 3 つから 2 つに減り、コンパクトになりました。新クリーンセンターにぜひお越しください！

社会科見学のご予約もお待ちしております。



クリーンセンター外観

いつでもだれでも自由に工場見学！

新工場の 2 階は見学者コースになっており、予約不要でどなたでも自由に見学することができます。タブレットや pepper、コンシェルジュが見学のサポートをします。

※ 社会科見学は事前にご予約をいただき、市職員がご案内いたします。

環境に関する学びのコーナー

クリーンセンターの歴史やごみのゆくえを学ぶコーナーのほか、屋上の生ごみ堆肥を使った菜園や廃材を活用し昆虫や鳥の棲家をつくる草地でのワークショップ、新たに導入したごみ発電設備、ガスコージェネレーション設備などエネルギーについて学ぶプログラムも企画しています。

詳細につきましては、直接クリーンセンターにお電話をかけるか、教育推進室までご連絡ください。

教育推進室
クリーンセンター

電話：0422-60-1241、FAX：0422-51-5113
電話：0422-54-1221

【お知らせ】

今回の教育推進室だよりでお気付きの点やご意見等がありましたら、教育推進室までお寄せください。次号は、5 月 15 日に発行予定です。